

船客三心線

年々歳々花相似たり。瓦礫々々同くならず。
 いわれ孝都が「冬には花はまじり咲く。」
 しかし、過疎が道より山里からの管カガ
 ひたひた途切れると、山里の結構や
 管理がびびるにぞれども況ぬは、
 面びなきまじりとはよつて困弊は、

菲生は、水が、多、田んぼが、
 でき、土地も、多い、ため、米
 作、盛んである。一方、横山
 は、水も、田んぼに、でき、土地
 も、少ない、ため、利の、多く
 にと、占める、山を、焼く、
 焼、山、畑に、力を、入れて、ア
 ン、ヒエ、大豆、小麦、などに、
 ほと、種、の、作、作物が、
 作、られる。

水がふけないといふのは
雨水を利用する
「雨水田」を開いて
米を作っていた。

傾定

金口でいへれば、安全でおいしい
水があつた。雨のよさに飲
める日本。
水の国星といわれる地球には
おいて飲めるものはわずか1%
たらずであつた。
世界中では深刻な水不足。
あつた。雨のよさに、どれいどか
ある日本は何よ！ 七代将軍
に思ふれた。奇蹟のよ様な
国工に頼むにちよと住んでいけ。

無川

高松山
宇徳帝
御歴
ナナバシイ
安徳天皇にまつかり
「亡つたがもど」という
意味。

川之瀬

宇箇舞

五位ヶ森

岩が

中川

則友川

岩が

五位ヶ森

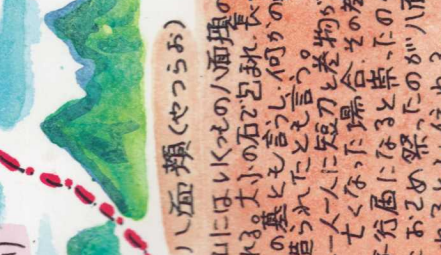
岩が

にくごんのいもうとであるものだから
それだけの役目とモチベーション
のちをゆづらしないであらう。
くいかえし続いているけれど
のないう世界。
まんだらのように重々無尽に
つながっている。

[illegible][illegible]

上輩生”

川には瀬があら
呼吸をしながら流
川の生きものが
川



の川

八面類(やつらお)

奥山にはいくつの面理の墓
 われる。大木の石を包み、長くな
 蛇の墓とも言うし、何りの草
 て追われたとも言つ。
 は一人一人に短刀と巻物とが
 が、七くなった場合、その巻物
 が不図になつて草の下にひ
 したるにおそめ緊ったのが八面類
 われるともし伝わける。
 が、いつか蛇という話もある。

熊山成跡
堂房谷
さとりがた
長遊

奥州常陸
新田郡
あぐれて
でぬり
きなく

新田川と上野川を
分ける桜淵

おはよう

木地師
100年以上の昔から、
山ハ目以上代々第
免状を持ちながらト
なと良寛が、平和の
板と製作し山々に
と渡り歩く人々が、
オホ部の山にも古く
木地師が里の流れを
断絶した生活と當
いた。

人の心を
 まちを
 せまき
 めるひ

の森は土佐藩の
 山の中で一番
 御堂山と佐賀山
 二ヶ所探訪とて
 目録に付した。

シロリシリチウ(シツ)
や香泉の原君をして
い取られていた。
22年、100両が硬貨に
と、おしになつた。
22の需要に鑑るし
35になつて、シツタ
は、式書となつた。

[illegible]

山を巡る
 門はど神
 黒虎並
 みたり。

石止

三人路跡
 現主の
 材木を流
 して段敷
 につ
 とい話
 りなれる。

21.10.5